

凸版印刷とサントリー酒類、フェイスシールドの設計情報を公開スーパーコンピュータ「富岳」の研究成果を活用して開発した
飲食用フェイスシールドの社会実装を実現

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)とサントリー酒類株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山田 賢治、以下 サントリー酒類)は、理化学研究所(本部:埼玉県和光市、理事長:松本 紘、以下 理研)が推進しているスーパーコンピュータ「富岳(ふがく)」の研究成果を基に開発した「飲食用フェイスシールド」の設計情報をオープンデータとして公開します。



フェイスシールドの完成イメージ

理研では、2021年度の共用開始を目指して開発・整備を進めるスーパーコンピュータ「富岳」を用いて「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策」について研究開発を実施しています。凸版印刷とサントリー酒類は、その研究成果の一部を活用し、「飲食用フェイスシールド」を開発しました。

今回、そのフェイスシールドの設計情報をオープンデータとして公開します。本データを活用することで、3Dプリンターと必要な素材があれば、誰でもフェイスシールドを作製することが可能です。

本取り組みは、Society5.0の時代に強く求められる、「富岳」を活用した科学的知見をもとに、企業が実効性ある対策を実施するものであり、凸版印刷、サントリー酒類、理研の三者が力をあわせ新型コロナウイルス感染症の克服に貢献します。

■ 飲食用フェイスシールドの特長

- ・メガネ型にすることで、誰でも直感的に装着可能
- ・飲食時はワンタッチで口元のシールド部分を開閉可能
- ・「富岳」による検証結果を踏まえた、お椀型のシールド構造

※本フェイスシールドは感染を100%防ぐものではありません。換気/手指の消毒/距離の確保などの、十分な感染予防対策が必要です。

■ 設計情報のダウンロード方法

URL: <https://toppan-faceshield.jp/>

なお、サントリーマーケティング&コマース株式会社が運用する「飲食店用品.jp」(<https://www.inshokuten-youhin.jp/>)において、完成品の販売を予定しています。(2020年12月21日(月)販売受付開始、2021年1月7日(木)以降、順次発送予定。数に限りがあるため、購入いただけない場合があります)

■ 参考資料

飲食店における新型コロナウイルス感染症拡大防止の協働取り組みについて(2020年10月13日発表)
リリース URL: https://www.toppan.co.jp/news/2020/10/newsrelease_201013_1.html

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上